

構築会兵庫支部 平成15年度見学会・総会の概要

平成15年度見学会は昨年と同時期、晩秋の11月に開催しバスツアーに42名が参加しました。

最初に兵庫県三木市の震災記念公園において、7月に主要な建物が完成した(独)防災科学技術研究所の「実大三次元振動破壊実験施設(Eーディフェンス)」の建設現場を訪れました。阪神・淡路大震災で発生した構造物被害の教訓を活かし、地震から人命を守る構造物の設計をめざして、実大規模の構造物を実際に破壊し、破壊メカニズムの解明や耐震補強効果の検証等を行う世界最大級の実験施設です。今後の試運転等を経て、震災から10年となる平成17年1月に全施設が完成するそうです。現地では、実際の地震と同様の複雑な三次元の揺れを造り出す20m×15mの大型振動台を用いた興味深い実験計画等の説明を伺いました。

次の見学先は、ダム建設により分断された生態系を回復し、より豊かな水環境の創造を図ることを目的として、兵庫県が全国に先駆けて取り組んだ「青野ダム・多自然型魚道」です。青野ダムは、二級武庫川水系青野川において、治水と水道用水を目的に築造された重力式コンクリートダムで、今回見学した多自然型魚道は平成13年に竣工しています。現地ではダム水環境改善事業として生態系に配慮された多自然型魚道が整備されており、参加者は遊歩道や水中観察施設から覗き込み、魚たちや水草などが自生する環境を創出している工夫を学習したひとときでした。

総会は、神戸市諏訪山公園の麓の閑静な住宅街にある鄙びた神戸市諏訪山荘に会場を移して開催しました。午後1時からの行動で、総会が終わる頃にはみなさん喉が渴いていたのか待ちきれない雰囲気の中、純和風の大広間で懇親会が始まりました。前田孝男構築会会長、土木工学専攻長代理の出口一郎先生、建築工学専攻長柏原士郎先生も駆け付けていただき、賑やかな懇親会となりました。